

授業科目 看護学演習 I	科目概要・形式 2単位 60時間(30 コマ) 演習科目	配当年次 博士前期 1 年次 後期開講	オンライン参加 ☑・不可 (下記 7 参照)
科目責任者	福井 幸子		
担当者	福井 幸子、蝦名 智子、小野 恵子、角濱 春美、久保 宣子、小池 祥太郎、佐藤 愛、清水 健史、新改 法子、谷川 涼子、出貝 裕子、鳴井 ひろみ、村上 眞須美、古川照美、千葉敦子		
1. 科目のねらい・目標 <ねらい> 研究論文のクリティーク・文献レビューを通して、専門領域で必要とされる実践および研究課題を明らかにする。 <目標> 1. 専門分野に関する文献レビューや研究論文のクリティークができる。 2. 自己の研究課題に関する取り組み過程を説明し、討論ができる。			
2. 授業計画・内容 1) 専門分野に関する研究論文のクリティークや文献レビューについては選択した科目担当者が担当します。 【福井幸子】 療養者や家族に対する看護ケア、感染症をコントロールするシステムづくり、および看護実践の効果を検証する方法などの文献クリティークとディスカッションを通して、研究課題を明確にする。 【蝦名 智子】 周産期にある女性と家族にエビデンスに基づいた看護実践を行うために、母性および周産期看護に関連する研究論文のクリティーク、文献レビューの過程を通して、母性(周産期)看護領域で必要とされる実践および研究課題を明らかにする。 【小野 恵子】 在宅看護に関する研究論文のクリティーク、文献レビューの過程を通して、在宅ケアの質を高めるためのアウトカム評価の思考に基づき、在宅看護学領域で必要とされる実践および研究課題を明らかにする。 【角濱春美】 自らの研究テーマと関わりのある研究、理論について学び、看護の基盤となる科学(看護基礎科学)と実際の研究との関連性について探究する。 【久保宣子】 関連する国際看護に関する研究論文のクリティーク・プレゼンテーション・ディスカッションを通して、研究課題を明確にする。 【小池 祥太郎】 看護技術の効果や、その効果の根拠を検証している論文のクリティークを通して、看護技術に関する研究の変遷について理解するとともに研究課題を見出す。 【佐藤愛】 母性看護に関する研究論文のクリティーク・プレゼンテーション・ディスカッションを通して、研究課題を明確にする。 【清水 健史】 精神看護の対象となる患者・家族にエビデンスに基づいた看護実践を行うために、事例分析や先行研究の知見を通して、精神看護領域で必要とされる実践および研究課題を明らかにする。 【新改法子】 感染症看護に関する研究論文のクリティーク・プレゼンテーション・ディスカッションを通して研究課題を明確にする。			

【谷川 涼子】

小児看護の対象となる子ども・家族にエビデンスに基づいた看護実践を行うために、小児看護に関連する文献検討を通して、小児看護領域で必要とされる実践および研究課題を明らかにする。

【出貝 裕子】

老年期にある人とその家族に対しエビデンスに基づいた看護実践を行うために、老年看護に関連する研究論文のクリティーク、文献レビューの過程を通して、老年看護領域で必要とされる実践および研究課題を明らかにする。

【鳴井 ひろみ】

がん患者・家族にエビデンスに基づいた看護実践を行うために、がん予防、がん薬物療法看護、緩和ケアに関する研究論文を探索し、研究論文のクリティーク、文献レビューの過程を通して、がん看護学領域で必要とされている実践および研究課題を明らかにする。

【村上眞須美】

看護管理に関する研究課題について、研究論文の探索、文献レビュー、論文クリティークを行い、プレゼンテーションし、ディスカッションを通して、研究課題を明確にする。

【古川 照美】

地域看護・地域保健に関する文献レビューや研究論文のクリティークを行い、自己の研究課題に関する取り組み過程をプレゼンテーションし、ディスカッションを通して研究課題を明らかにする。

【千葉 敦子】

産業看護に関する研究論文のクリティーク・プレゼンテーション・ディスカッションを通して、研究課題を明確にする。

2) 自己の研究課題に関する取り組み過程に関して、科目受講生と科目担当教員で討論する。

(1) 実施日時：時間割「看護学演習Ⅰ発表会」参照（11月第3土曜日を予定）

(2) 内容：受講生全員と、担当教員が参加し、発表・意見交換を実施する（2～4コマ程度）。
発表資料の提出方法や運営については、webex「看護学演習Ⅰ」で説明する。

3. 教科書、参考書

特に教科書は指定しない。各教員が資料を配布または講義中に紹介する。

4. 成績評価方法

「レポート30%」「プレゼンテーション40%」「授業への取り組み30%」で評価する。

5. 受講要件

看護学特論Ⅰ履修済みであること。

6. 社会人学生に対する配慮

講義日時は担当教員と相談して決められるよう配慮する。

7. その他

オンライン・オンデマンドを希望する場合は事前に担当教員に相談する。

オンラインの場合、基本としてwebexとするがzoomもありうる。

事前に担当教員と連絡をとり、課題などの指示を受けること。